山口県農林総合技術センターだより

# グリーンウェーブ

## 56号

令和7年(2025年)10月 編集・発行 山口県農林総合技術 センター

# 活力を創出する新技術開発・人材育成などの取組を紹介

# シカ専用小型囲いわな(愛称:しかとっちゃる)を開発

当センターでは、シカを効果的に捕獲するわなの研究を 進め、既存のシカわなを参考にして、山口県のシカに対応 した「山口型小型囲いわな(愛称:しかとっちゃる)」を開 発しました。

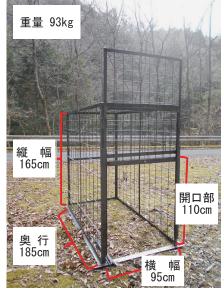
「しかとっちゃる」は、軽トラで運搬可能な大きさ・重量であり、シカが頻繁に出没する耕作放棄地等で捕獲を行う場合に、設置場所の近くまで軽トラで運搬すれば約10分で設置できるなど、機動的な設置・移設が可能です。

わなは、開発に協力いただいた長門市の鉄工所で購入できますが、センターのホームページに公表している図面があれば、各地の鉄工所でも製作できます。

また、ホームページに公表している 「捕獲マニュアル」では、農地周辺での 実戦的な捕獲方法を紹介していますの で、加害個体の直接捕獲による農林業被 害の軽減に向けて参考にしてください。



▲捕獲マニュアル



▲「しかとっちゃる」



▲製作資料(別冊)



▼わなで2頭捕獲

鳥獣による農林業被害は山口県全体で3億5千万円(R6年度)で、このうちシカによる被害は1億1千万円です。最近は、被害がシカの生息地の山林内から農地周辺や耕作放棄地へも広がり、また、生息地域が県の西部から中部へと広がっています。このため県ではシカ対策として、捕獲による生息頭数の適正化等を進めています。

〔農林業技術部 経営高度化研究室〕

#### <主な内容>

シカ専用小型囲いわな(愛称:しかとっちゃる)を開発

#### ◇各部の取り組み

クリの果実害虫防除用の蒸熱処理機を開発しました デジタル技術を活用して木材の品質管理を支援 集落営農法人の就業者が農閑期に所得を確保する方法 農林業技術部 経営高度化研究室

農林業技術部 環境技術研究室 農林業技術部 林業技術研究室 農林業技術部 経営高度化研究室

山口県和牛共進会で農業大学校が初のグランドチャンピオンを獲得!

農林業担い手支援部 学生支援課(農業大学校)

農業研修に新規参入企業向けのコースを新設しました! 脂肪交雑 県歴代1位「隆汐国(たかしおくに)」号 農林業担い手支援部 社会人研修室 畜産技術部 家畜改良研究室

## クリの果実害虫防除用の蒸熱処理機を開発しました

当センターでは、クリのクリシギゾウムシ等の防除のため、平成 30 年にボトル剤の生産が中止になった ヨウ化メチルくん蒸処理の代替として簡易型蒸熱処理機(以下、「蒸熱処理機」と略)を使用する防除技術を 開発しました。

この技術はヒーターで加熱した空気に霧状の水を吹き付けて生成した熱気を吸気ファンで断熱構造の室内に循環させ、クリ果実を47℃(果実表面温度)で40分間保つことで効率よく害虫を防除できる技術で、クリの品質には影響しません。

メーカーと協力して開発したクリ用の蒸熱処理機は令和6年から岩国市美和町で使用されています。薬剤を使わないため、消費者だけでなく作業員の安全性も高いとの評価を受けています。また、JAや農林水産事務所と協力して作成した防除マニュアルをセンターのHPで公開しています。



دوره وا

Dr. Olas

◀クリ用の 蒸熱処理機

▲防除マニュアル

〔農林業技術部 環境技術研究室〕

# デジタル技術を活用して木材の品質管理を支援

建築基準法改正など近年の情勢を背景に、品質の確かな木材への関心が高まっています。このため、当センターでは、柱材など建築に用いる木材の品質管理を支援するためのシステム開発に、今年度から取り組んでいます。

品質の評価は、寸法計測や強度測定、節・割れなどの欠点チェックがあり、現状は、計測・チェック2名、記録・データ入力1名の計3名で実施しており、数百本単位の木材を評価するケースともなると、多くの労力と時間を要してしまいます。

そこで、業務の効率化や省力化が期待されるデジタル技術を活用し、計測機器からダイレクトにデータ取得したり、AI(人工知能)による画像解析で節などの欠点を検知し評価を支援する方法を検討していく予定です。 ▼システム構成イメージ

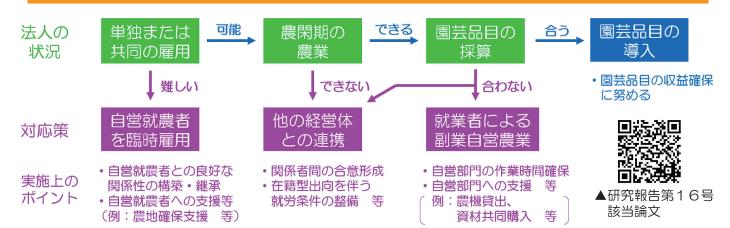


品質管理を促進し、良質な県産木材の需要拡大にも寄与するよう、品質データの取得・管理・活用を支援できるシステム開発を目指します。

### 集落営農法人の就業者が農閑期に所得を確保する方法

本県の集落営農法人(以下、法人)は水稲作が主体のため、季節による労働時間の偏在が顕著で、周年雇用の創出や人件費の確保に苦慮しています。そこで、農閑期(12~2月頃)における雇用創出の実態を調査し、実施上のポイントを整理しました。

#### 集落営農法人の農閑期における所得確保の取組



農閑期に農業ができる地域では就業者が副業で自営農業に取り組むパターン、農業ができない地域では 他の経営体と連携した農業以外の仕事での所得確保のパターン等がありました。

今後従業員の採用を予定している法人は調査分析した 143 法人のうち 23 法人で、そのうち 50%以上が農閑期における所得確保に関心がありました。法人や地域の実態に応じた取組を進めるためには、先行事例から学ぶことが重要です。各取組における実施上のポイントについては、山口県農林総合技術センター研究報告第 16 号をご覧ください。

〔農林業技術部 経営高度化研究室〕

## 山口県和牛共進会で農業大学校が初のグランドチャンピオンを獲得!

県内各地の代表牛が一堂に会して、発育、体型、品格等を競う山口県畜産共進会第72回和牛共進会が 令和6年11月12日(火)に開催され、農業大学校畜産学科が出品した「あや」号が全体1位のグランド チャンピオンに初めて選ばれました。

「あや」号は、発育が良好で、横から見た時の体上線が背からお尻まで真っ直ぐで、さらに体の輪郭(ライン)が鮮明で品がある体型が、雌牛として優れていると評価されました。



▲グランドチャンピオン牛 あや号



▲賞に喜ぶ学生



▲表彰式

本校の学生は毎日の講義や飼養管理実習に加え、共進会に向けた手入れや調教等の準備を行ってきました。令和4年の第12回全国和牛能力共進会へ初出品した経験なども活かし、学生の努力や学修の成果が実った瞬間でした。グランドチャンピオンに選ばれた時、出場した学生は驚きとともに大変喜び、満面の笑みで表彰を受けました。

今後も県和牛共進会に加え、令和9年に開催される第 13 回全国和牛能力共進会への出品に向けて果敢にチャレンジしていきます! 〔農林業担い手支援部 学生支援課(農業大学校)〕

## 農業研修に新規参入企業向けのコースを新設しました!



▲栽培実習の様子

社会人研修室農業研修グループで行っている「やまぐち就農支援塾」では、受講者が目指す段階に応じた、様々な農業研修を実施しています。令和7年度から、企業や障害者福祉事業所の農業部門担当者等が参加可能な新たな研修コース「担い手養成研修ニーズ対応型部門」がスタートしました。この研修は担い手養成研修の一部門として実施しており、希望経営品目について実践的な栽培技術等を修得することができます。

今年度は企業等から派遣された2名の研修生が、一年間の研修に取り組んでいます。研修生は、農林総合技術センターで週3日以上の研修を受講し、研修日以外は所属企業等に勤務しています。栽培実習の他にも、農業をしていく上で必要な資格の取得研修や、学生講義の一部聴講など、農業の基礎から応用まで幅広く学んでいます。

なお、令和8年度生の一次募集が令和7年 10月20日から始まりますので、ご興味のあ

る方は農業大学校HPをご覧ください。

▲農大(社会人) HP



▲資格取得研修の様子

〔農林業担い手支援部 社会人研修室〕

# 脂肪交雑 県歴代1位 「隆汐国」号

山口県では、県内肉用牛農家を支援するため、優れた産肉能力を持つ黒毛和種種雄牛を育成し、その 凍結精液を供給しています。このたび、次世代の種雄牛候補として育成中の「隆汐国」(たかしおくに) 号の現場後代検定\*1が終了し、その成績が優秀であったことから、本県肉用牛改良の礎となる基幹種 雄牛に選定されました。



本牛は、牛肉の霜降り度合いを示す脂肪交雑が県歴代1位、肉量の目安となるロース芯面積や推定歩留が県歴代3位の成績を収めるなど、高い評価を得ています。また、本牛産子は令和6年度山口県和牛共進会で最優秀賞を受賞しており、今後のさらなる活躍が期待されます。

現場後代検定

◀「隆汐国」号

〔畜産技術部 家畜改良研究室〕

(公社)全国和牛登録協会が種雄牛の産肉能力を評価するために定めた検定方法です。県内農家において検定する種雄牛の子牛(検定牛)を肥育し、枝肉成績を調

#### 現場後代検定成績

30-30 IX 1 VIXXE 700 ISC								
	枝肉重量	ロース芯 面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	推定歩留	脂肪交雑 BNS No.	脂肪の質 MUFA	
	(kg)	(cm²)	(cm)	(cm)		(%)	(%)	
隆汐国	500.7	69.7	8.6	2.5	75.7	9.8	60.3	
	(8位)	(3位)	(4位)	(4位)	(3位)	(1位)	(4位)	
全国枝肉成績※2	494.1	68.6	8.3	2.5	75.4	8.6		

隆汐国:下段は県育成種雄牛の歴代順位

※2:去勢、雌の加重平均(出典:枝肉成績とりまとめ(令和5年度))

<山口県農林総合技術センター 企画戦略部 企画・連携グループ>

〒747-0004 山口県防府市牟礼 10318 TEL: 0835-28-1211

e-mail: a17201@pref.yamaguchi.lg.jp

URL https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/



**※**1

杳します。



▲センター HP

▲担い手支援部(農業大学校)HP